

NIE 教育に新聞を
Newspaper In Education

千葉日報 子ども新聞



大浜選手(右)との鬼ごっこで、競技用車いすの操作方法を体験する児童たち＝船橋市立小室小

体育館で競技用車いすの基本操作を教わった児童たち。実際に車いすに乗り、大浜選手のタッチをかわす「鬼ごっこ」で、両腕を巧みに使う素早い移動や切り返しを覚えしました。

地元バドミントン教室のコーチらとシャトルの

打ち合い練習を重ねたあと、代表の児童が試合形式で大浜選手に挑戦。落ちる寸前のシャトルにラケットを届かせたり、後ろ向きで打ち返したりする一流の技に驚きながらも、選手顔負けのショットを放ち笑顔を見せました。

来年夏の東京パラリンピックで正式競技になるパラバドミントンの魅力を国内トップ選手が紹介する出前授業が、船橋市立小室小で行われました。先生は、柏市を拠点とする「スマイルクラブ」に所属する大浜真選手(35)＝柏市出身。競技用車いすを使ったシャトルの打ち合いを、6年生約40人に指導しました。

パラバドの魅力知って 船橋、大浜選手が出前授業

参加した児童は「大浜選手の速さや迫力に驚いた。車いすの操作が大変だったけれど、すごく面白い」と話しました。

国内のトップ選手と触れ合える出前授業。競技について知れるだけでなく、ゆかりのある選手を応援するきっかけにもなるね。

大浜選手は千葉県強化指定選手で、2024年のパリ・パラリンピックを目指しているそう。出場できるように、僕も声援を送るよ！

